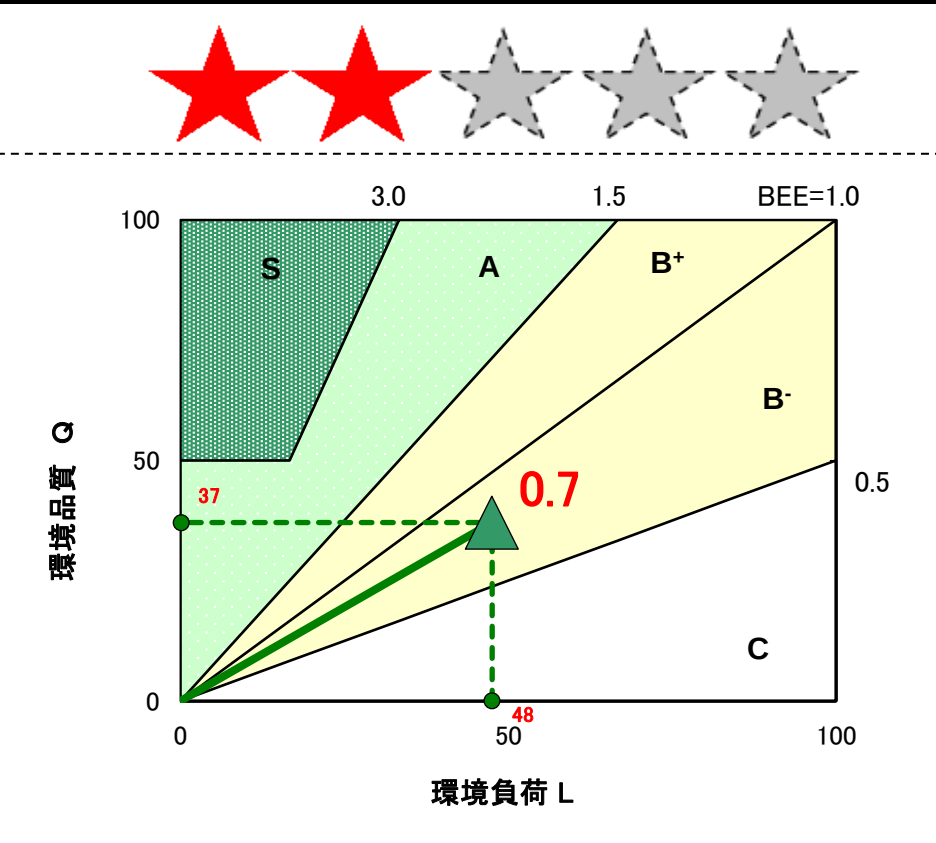


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称) 熊本・鍛冶屋町コンドミニアム	階数	地上12F	
建設地	熊本県熊本市中央区鍛冶屋町9番1	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	266 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	ホテル、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月7日	
敷地面積	567 m ²	作成者	柳田	
建築面積	268 m ²	確認日	2020年1月10日	
延床面積	2,962 m ²	確認者	園田	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.7

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

86%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

重点事項総合評価	評価点
	71

重点事項1

温室効果ガス排出量削減の推進

重点事項2

安全安心で暮らしやすい社会の実現

重点事項3

県の地域資源の有効活用と保全

重点事項4

循環型社会の実現

評価点

74.5

61.2

75.0

72.0

熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

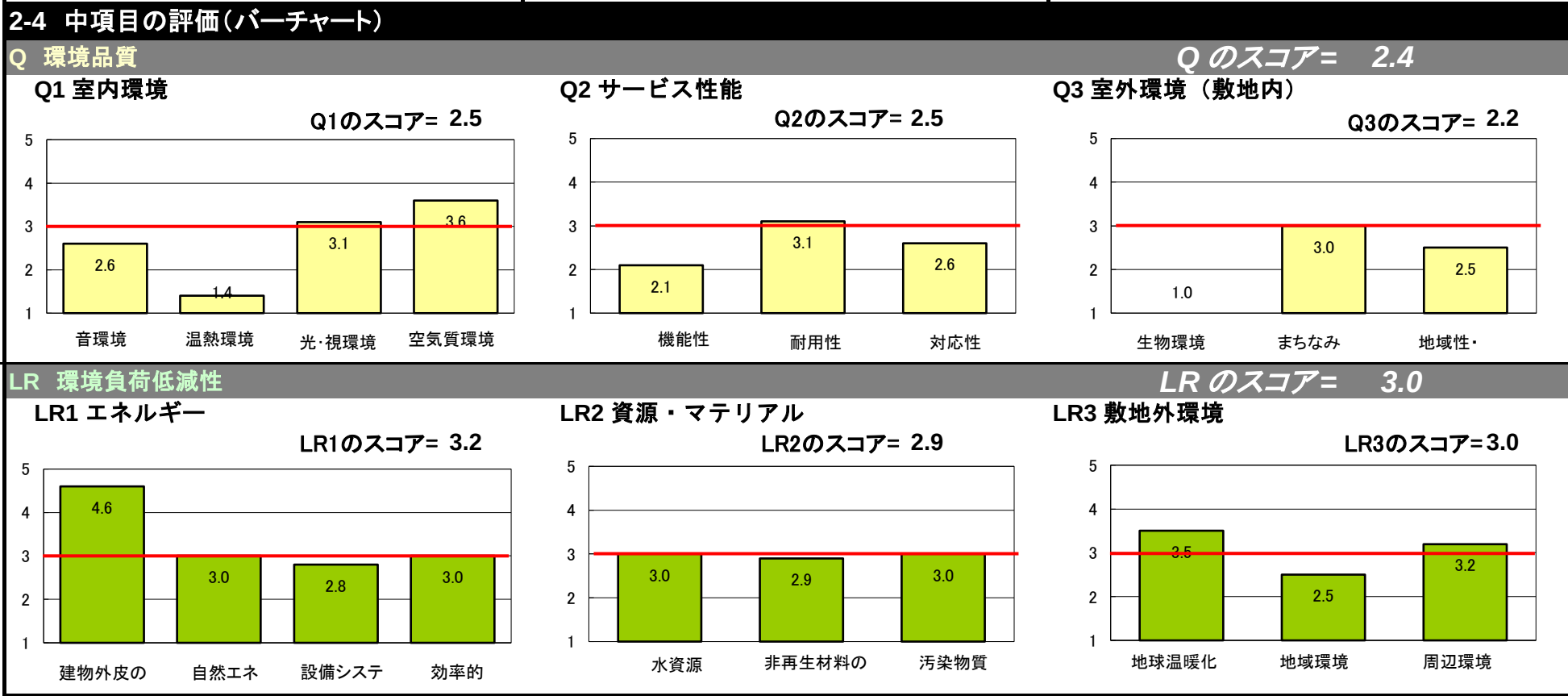
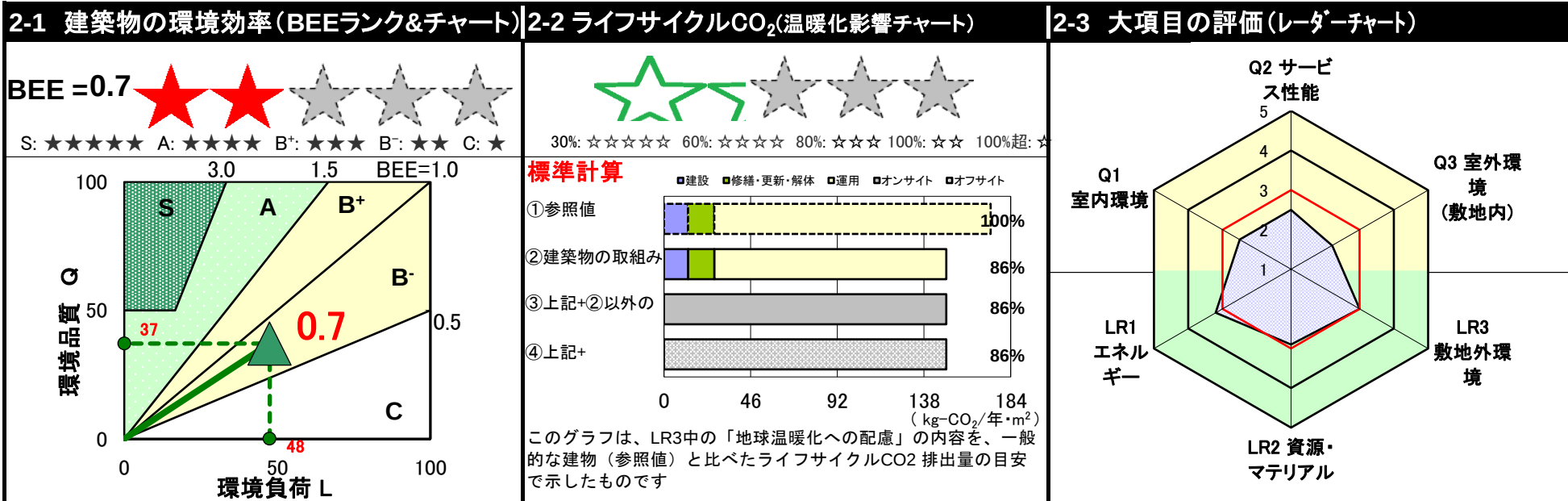
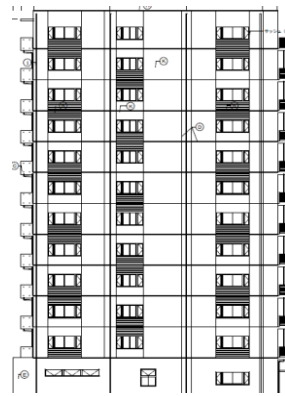
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)熊本・鍛冶屋町 condominium	階数	地上12F	
建設地	熊本県熊本市中央区鍛冶屋町9番1	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	266 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月7日	
敷地面積	567 m ²	作成者	柳田	
建築面積	268 m ²	確認日	2020年1月10日	
延床面積	2,962 m ²	確認者	園田	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)熊本・鍛冶屋町コンドミニアムホテル プロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.4	
Q1 室内環境					0.40		-	2.5	
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				1.4	0.35	1.4	1.00	1.4	
2.1 室温制御				1.8	0.50	1.8	0.50		
1 室温				2.0	0.38	1.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				2.4	0.25	3.3	1.00	3.1	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		(共用部)【ロビー】1.98% (住居部)居室HCR:3.85%、居室TR2:2.58%、居室T:3.75%		3.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		告示対象となるホルムアルデヒド発散建築材料は全てF☆☆☆☆を使		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		(住居部)居室HCR:0.111>0.10、居室TR2:0.108>0.10、 居室TR1:0.111>0.10		-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御		(共用部)喫煙ルームの設置		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.5	
1 機能性				2.4	0.40	2.1	1.00	2.1	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	1.5	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応				-	-	2.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観		(住居部)居室天井高:2.7m		-	-	5.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		(共用部)(住居部)主要な用途上位3種の、 2種以上にB以上を使用し、Eは不使		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		(共用部)(住居部) ①節水型器具の採用 ②可能な限り配管の系統を区分 ④受水槽、膨張タンク		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		

		5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
--	--	---	---------	--	--	-----	------	---	---	--

3 対応性・更新性			3.4	0.30	2.4	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			-	-	1.8	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.4	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	5.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m :0.84	4.6	0.20	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.84	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	
		(共用部)(住居部)・GL工法・LGS下地 ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ・再利用できるユニット部材を用いている(ユニットバス)					
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		(共用部)(住居部)LED照明の採用	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
		(共用部)(住居部) 屋外照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす 広告物照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす					

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

都市環境・周辺環境との調和を考慮した計画とした。

Q1 室内環境

- ・ 昼光利用に努めた。
- ・ 建築材料はF☆☆☆☆建材を積極的に採用した。
- ・ 開閉可能な窓を十分に設け、自然換気性能の向上に努めた。
- ・ 喫煙ブースを設け、非喫煙者が煙に曝されないよう配慮した。

Q2 サービス性能

- ・ 居室の広さを十分にとることで、機能性・使いやすさに配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・ 植栽を設けることで、建物内外を連関させる豊かな中間領域の形成に努めた。

LR1 エネルギー

- ・ 高効率の照明、空調機器を採用し、省エネルギーに努めた。

LR2 資源・マテリアル

- ・ 節水コマに加えて、省水型機器を採用することで水資源保護に努めた。

LR3 敷地外環境

- ・ 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への配慮に努めた。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

(仮称)熊本・鍛冶屋町コンドミニアムホテル プロジェクト

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	71
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進						
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05	74.5	0.40	29.80
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.6	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現						
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	61.2	0.20	12.24
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全						
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20	75	0.20	15.00
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現						
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30	72	0.20	14.40
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数